

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもかがやきセンターかのかん 放課後等デイサービス				公表日	令和7年 2月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・使用出来るスペースを工夫しながら活用している。	・利用人数に応じてスペースの活用や、活動の工夫が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・職員不足も否めないが、支援内容を工夫するなどして、安全に支援が出来る体制をとっている。	・個別対応の利用者が増えているため、現在の職員数では今後、安全に支援が出来ない事も考えられる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・施設はバリアフリーになっている。 ・訓練室内は、活動に不必要な物を置かずに、安全かつ構造化に配慮している。	・まだ不十分な箇所もあるため、今後少しずつ改善できるようにしていきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日職員が朝と夕方に施設内の清掃、除菌消毒等を行っている。空気清浄機を稼働し清潔を保ちながら活動の場を提供する事に努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別対応が出来る個室を、必要に応じて使用できるようになっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・申し送りやスタッフ会議等で、目標についてや振り返り等の情報の共有を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・評価表より、保護者の意向を把握することで、業務の改善や職員のスキル向上に努めていきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・スタッフ会議等で業務に関する意見等を出し合い、話し合いを行う機会を設けている。実際の支援に繋げられるように努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・年に一度、第三者委員より講評をいただいている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・視察研修や勉強会などを実施している。 ・毎月職場内研修が行われており、参加している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムは法人のホームページにて公開している。 ・必要に応じて話し合いをして、更新していく。	・支援プログラムの公開について、広く公表していきたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・利用者、保護者のニーズの把握に努め、職員間で話し合いの場を設け、半年毎に個別支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・職員間で会議を設け、意見を出し共通理解をした上で、全員が計画作成に携わっている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・職員間で会議を設けているため、共通の意識をもち支援が出来ている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・活動内容については、日々の打ち合わせで話し合いを行っている。月毎に担当職員を決めチームでの立案を行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・曜日で活動プログラムを組んでいる。季節や利用者に応じて活動の内容を工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・利用者の実態や活動内容に応じて、活動の場を分けるなど適宜行われている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎日打ち合わせを行い、活動内容の確認、各担当等の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後には、職員間でその日の支援を振り返り、ケース記録に記載している。	・その日のうちに共有出来ない事は次の日の申し送りですべて共有を行うようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・その日の支援を共有し、確認しながらケース記録に反映し、支援の改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に一回モニタリングをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・様々な活動の提供をしている。その中で利用者が自己選択、自己決定出来る場面を設けている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・相談支援事業書と連携をし、児童発達管理責任者が担当者会議に参加している。会議の内容を申し送り時に職員間で共有している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・随時、学校側と連絡を取り合い、情報交換をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・同じ事業所内で、就学前の児童を対象とした児童発達支援事業所と療育訓練を行っている。希望のある保護者に対しては情報提供を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・移行施設と連携を図りながら、情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・研修等に参加し、専門機関との連携を図っている。 ・必要に応じて助言等を頂いている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・コロナや感染症の影響もあり、開催は難しかった。	・今後は積極的に計画していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・児童発達支援責任者が児童支援部会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡帳でのやり取りや、送迎、お迎えの際に、その日の活動の様子や、利用者の様子を保護者に伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・ペアレントトレーニングとしては行っていないが、利用者の様子を保護者と共有し、悩み事や課題について寄り添う事ができるようにしている。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に、重要事項説明をしている。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・相談があれば面談の機会を設けている。必要に応じて相談支援専門員にも入ってもらい、助言をもらっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者交流会としては行っていない。	・今後は土曜営業日に、保護者同士交流が持てる場を提供するなど検討していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情解決委員会を設けている。苦情解決処理要綱に則り対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・事業の会報は年発行している。ホームページにて活動の様子を定期的に更新している。活動・行事予定等はその都度、保護者のお知らせしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報については十分に注意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・個々のケースに配慮できるように、伝達ツールを工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・事業所の祭り開催時には地域の方を招待し交流の機会を設けていたが、感染症等の影響で今年度は難しかった。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・研修等に参加し、正しい対応が出来るように学びの機会を設けている。施設内研修等で、職員間で周知出来るようにしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・様々な災害を想定し、年4回の避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・服薬に関しては、契約時に保護者より聞き取りをしている。その後服薬の変更についてなど、随時保護者と情報を共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・現在、対象の利用者はいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・日々の小さな事でもヒヤリハット記録を残し、その都度職員間で話し合いをし、対応を考えている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会を設置している。虐待防止チェックリストを実施し、職場内研修等で振り返りを行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・身体拘束については、職場内研修等で周知している。 ・現在対象となる利用者に関しては、説明をし同意書を頂いた上で個別支援計画に記載している。定期的な見直しもやっている。		